

ヒューマンエラーと工場マネジメント

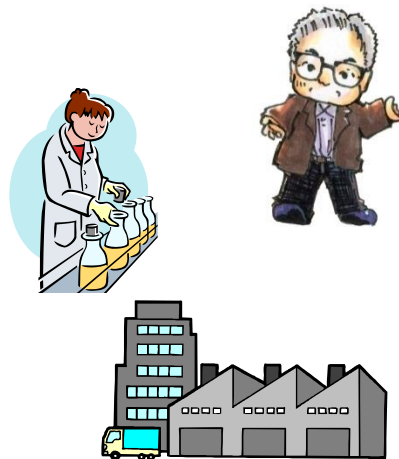
～企業が存続し続ける為には、原価低減と価値の向上が必要～

■本セミナーの特長

『ドイツでの経験を鳥取へ』

わたくし、生まれも育ちも鳥取県中部です。

- 価値の向上：3つの価値とは ・社員 ・製品 ・会社
- やるべきことは、「まず安全、そして楽にさらに楽しい職場をつくること」
- 人間はミスをするのが大前提です。しかし、ミスによる事故や災害はなくさなければなりません。
- ヒューマンエラーの99%がたわいもないこと。それを見逃すことにより大きなミスにつながります。
- トップ、上司自らがヒューマンエラーの撲滅に取り組むことは、社員の意識を変えることができます。



概 要

- 日程：2015年12月1日(火)
- 時間：10時～17時
- 会場：鳥取県立産業人材育成センター(倉吉校)
倉吉市福庭町二丁目1
- 定員：15名(先着順)
※定員を超える場合、同一企業人数は調整させていただく場合があります。
- 受講料 1,000円(一人当たり、テキスト代含む)
- 《お申込み手続き》
 - ①受講者：受講申込書に記入し、下記連絡先にファクシミリで申し込んでください。
 - ②事務局：受講通知を受講者様宛に、申込書に記載のメールアドレスへ送信します。
 - ③受講料：セミナー当日持参してください。

《キャンセルについて》

・受講料受領後に、受講者様のご都合により、受講途中でご出席出来なくなった場合は、お支払いいただいた受講料の返金は致しかねますので、予めご了承下さい。

■主催：鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会

《連絡先》 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会中部支部

(鳥取県立産業人材育成センター内)

電話：0858-27-5333 ファクシミリ：0858-27-5334

電子メール：sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp

プログラム

1. 講師の自己紹介、参加者同士の自己紹介
2. 会社に来てやることはたったの2つ
 - (1) 社会貢献するために、会社は存続し続けること。
→そのために、原価低減と価値の向上が必要
 - (2) 原価低減：ムダの廃除、コストダウン、VA(価値分析)、VE(ヴァリューエンジニアリング)
 - (3) 価値の向上：社員、製品、会社の3つの価値とは？
3. ヒューマンエラーとは？
 - (1) うっかり、ぼんやりといったぐいのもので、人間だれにもやってしまうミス
 - (2) 人間はミスをするのが大前提、でもミスによる事故や災害はなくしたい
4. 今までのヒューマンエラーに対する取り組み
 - (1) 災害は、交通事故のようで運がなかったのだと、会社が勘違いしている
 - (2) 的確な対策を取る時間がなく、処置のみにとどまって何度も再発している
 - (3) 規律の欠如の問題！
5. 今後のヒューマンエラー撲滅の考え方
 - (1) 環境整備に取り組む
 - (2) ヒューマンエラーをなくすには、当たり前のことを愚直にやる
 - (3) 安全作業が品質・生産性を向上させる
6. ヒューマンエラーの撲滅の進め方
 - (1) ヒューマンエラーの防止法。ハインリッヒの法則から学ぶこと
 - (2) やり始めることは、整理、清掃、整頓＋表示標識の順番で！
7. 工場マネジメントの取り組み
 - (1) 社員をもっと活かすこと
 - (2) 新しいマネジメントスタイルとは？
 - (3) 規律を高めることが、根本から災害を防ぐ

講師プロフィール

【松田 龍太郎(まつだ りゅうたろう)】

株式会社SMC 代表取締役

【略歴】

1974年米子工業高等専門学校電気工学科を卒業、同年旧オムロン倉吉に入社後、1986年よりトヨタ方式の導入と定着の推進を担当。2000年同社退社、同年(有)エス・ピー・エス経営研究所入社、2006年独立し、(株)SMCを創立し同代表取締役。25年以上トヨタ方式の導入と定着を推進し、さらにユーモアとゼスチャーと盛り込んだセミナーとコンサルティングは、非常にユニークで海外欧州では人気になっている。海外を中心に大企業から中小企業まで、幅広い業種で数十社以上の企業をコンサルティングしてきている。

【著作】

- ・絵ときパカヨケ撲滅大全(日刊工業新聞社)：共著
- ・絵とき簡便自動化(日刊工業新聞社)：共著
- ・日本製造業を立て直す超ものづくり経営(日経BP社)：共著
- ・目からウコロだ！現場改善(日刊工業新聞社)：機械設計
- ・虫の眼、魚の眼、鳥の眼(日刊工業新聞社)：工場管理)他全4つの月刊の連載を執筆中

